

2024 年度「働き方を考えるセミナー」開催報告

2025 年 2 月 3 日（月）地域医療情報研修センター 中講堂に於いて、「働き方を考えるセミナー」を開催いたしました。今年度は、講師に産婦人科医として第一線でご活躍されながら、勤務環境改善や女性医師支援に取り組んでおられる、木戸 道子先生（日本赤十字社医療センター第一産婦人科）をお招きして、「誰もが能力を発揮できるための働き方改革」をテーマに、人口減少社会における医療従事者の働き方改革の重要性についてご講演いただきました。



講話では、長時間労働の是正や柔軟な働き方の導入、非正規雇用の処遇改善、女性医療従事者のキャリア形成支援が挙げられました。特に育児や家庭の事情を考慮しながら働き続けられる環境整備の必要性が強調され、長時間連続勤務をなくし、業務をシェアするタスクシフト・シェアの推進や、変則二交代勤務制の導入による当直負担軽減の取り組み等が紹介されました。

また、イクボス（管理職）の役割として、部下のキャリア支援や自己肯定感を高める言葉かけ、職場環境の整備が求められることもお話しいただきました。

今後、自治医科大学でも、働き方改革を推進し、持続可能な医療環境の整備を進めることが期待されます。木戸 道子先生、本当にありがとうございました。



参加者アンケート結果

■講話の中で参考になったことや印象に残ったことを教えてください。

- ・助けあいが大事だと感じた。それができているところとできていないところは何が違うのか、できているところとできていないところにどれだけ関われるのか、病院の中でなにができるのか、まずは全体でできることから始めるのはとても良いのではないかと感じた。
- ・すべての人がそれぞれの得意分野を生かして活躍するということ
- ・女性医師のキャリアアップの現状を理解した。
- ・年に3回もすべての部下と直接面談されるとは大変な労力と尊敬しました。
- ・組織での取り組みについて
- ・平等と多様性への適応
- ・シフト制の導入
- ・働き方改革の重要性が強調され、多様な人材が能力を発揮できる環境整備の必要性や、柔軟な働き方の選択肢やタスクシェアの推進が有効であることがとても良く理解できました。また、育児や介護と仕事を両立しやすい環境づくりには、組織の理解と支援が不可欠であり、「イクボス」の重要性も分かりました。医療界においては、長時間労働の是正や医師同士のタスクシェアが鍵となると感じた。今回のご講演は社会全体で取り組むべき課題であると考えた。
- ・後悔しない子育て
- ・連続勤務で疲れ切った医師に、自分の大切な家族を診てもらいたいと思いますか
- ・木戸先生が当直、オンコールもされていることに驚きました。シフト制の導入については、とても興味深かったです。
- ・全ての医師が同じ環境で勤務交代制により、職務についていることが可能なのが驚きました。タスクシェアは、単なる業務移管でなく、それぞれの職種の職能を活かした業務分担という考え方で、うまく協働できるというお話も印象に残りました。

- ・医師の働き方改革をすすめる上で医師・看護師・事務員から構成されるまともりのあるチーム医療体制が築けることが重要なのかなぁと感じた。言い換えると、突出した能力をもつ個はそのような体制の中では必要とされていないのかなぁとも感じた。

■木戸先生へのメッセージがございましたらご入力ください。

- ・栃木までお越しいただき、ありがとうございました。
- ・貴重なご講演ありがとうございました。勉強になりました。今後ともよろしく願ひいたします。
- ・総論としては理解したが、具体的な成功例の話が少なかったように感じた。
- ・Positive thinking を力強く推進していかれているお話に感銘を受けました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・キャリア支援に関する組織の意識改革が重要と再度認識いたしました。
- ・木戸先生この度はご来学ありがとうございました。働きかた改革とジェンダーギャップについてどのように考えていくのがよいのか、方向性を示してくださいました。また改革には前向きな姿勢と、現場や当事者が声を上げることが大切であることが理解できました。日本のジェンダーギャップは著しく大きいため、女性医師にハイヒールを履かせることも必要ですね。。女性からは言いにくいですが、どのように訴えていけばよいのでしょうか？医療界では、203030 宣言は何の拘束力もなく、他の企業と比べても医療界は著しく女性管理職率が低いですね。先生が来学され、エネルギーを頂きました。自治医大も頑張っていきたいと思います。
- ・とても分かりやすく、今後働いていくうえでの原動力となりました。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすくてためになるお話を御教授いただきありがとうございました。多様性、公平性と、人口ボーナス期、オーナス期の働き方の変革の重要性、思いやりのある言葉かけが人と人のつながりを作りチーム形成につながることなど、大変勉強になりました。
- ・これからもお元気で、講演を通して女性の働く環境について広めていって頂きたいと思います。ありがとうございました。

- ・先生の病院での勤務交代制や声がけ、年に数回行われている面談など、非常に参考になりました。先生のさらなる御活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。
- ・チーム医療体制をつくるために、個々の人が発揮しないといけない能力と、我慢しないといけない能力があるのだと思います。講演では、やりたいこと（方向）が異なる人は他に行って実践してくださいという表現をしていたように聞こえました。もしその人に本当に能力があるのならば、うまく活躍できる環境の模索、あるいは提供することも働き方改革なのではと感じましたが、そのような余裕などないのが今の医療現場なのかもしれませんね。

■「働き方を考えるセミナー」へのご要望をお聞かせください。

- ・とても良い企画なので長く続けてください。
- ・困難を克服してキャリアアップに成功した人の話が聞きたい。
- ・今回もそうですが、他施設の具体例が参考になると思いました。
- ・ありがとうございました。
- ・企業の取り組みも聞いてみたいです。
- ・録画し、オンデマンドで視聴できれば良いと思いました。
- ・今回来学の演者の先生に大切なメッセージをお話しいただきました。このような考えが学内に普及するとよいと思います。より多くの参加が出来るように工夫するとよいと思います。例として、開催時間を短縮。17時から17時45分が講演、18時で終了などご検討ください。
- ・いろいろな理解がないと改善していくことは難しいことだと思いました。
- ・これからもいろいろなお話を聞かせていただきたいです。楽しみにしています。中身はもちろん、スタッフの皆様がお花を飾ったりすることなどにも気を配っていただき雰囲気がいい勉強会だと思います。このような場所に来ていただけない方をどう参加していただくかが課題かなとも思っています。
- ・もう少し小さい会場でもよかったかもしれません。
- ・ハイブリッド開催を行う際に課題とされることですが、機器や画面の不具合が発生した際の対応、および会場とWebでの画面動作の確認などの直前の準備等が課題だと思います。

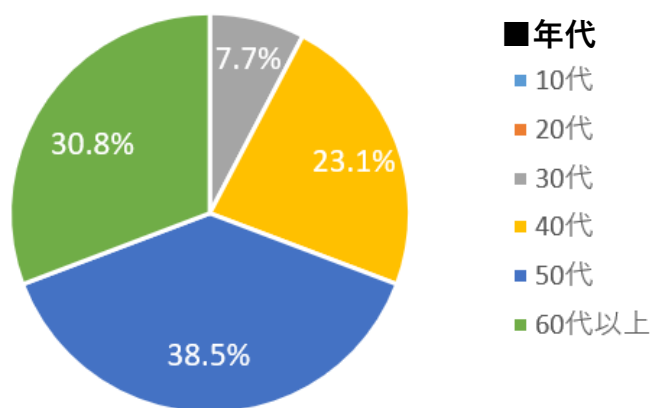
いました。

- ・女性と男性が対等に上手に職場環境を築いていくために、それぞれがどのような努力をすべきなのか？それぞれに足りないものは何なのか？うまくいっている（いった）例ではなく、うまくいかなかったことも含まれている経験談的な講演があつていいように思います。失敗を通して学ぶことも多々あるのではないのでしょうか？

アンケート回答者データ

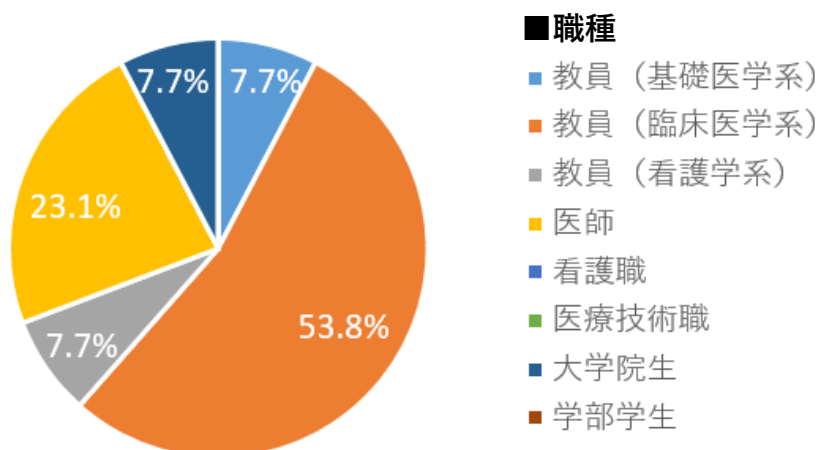
年代をお選びください

13 件の回答



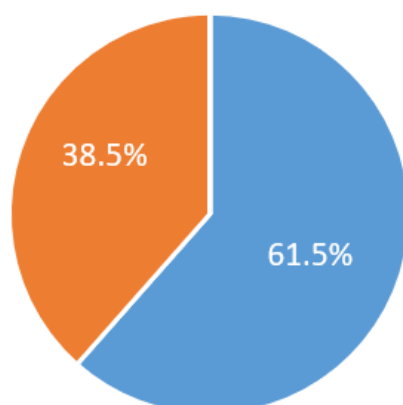
職種を教えてください

13 件の回答



セミナーの内容について当てはまるものをご選択ください

13 件の回答



■選択肢

- 大変参考になった
- 参考になった
- どちらでもない
- どちらかという参考にならなかった
- 参考にならなかった

セミナー参加者データ

■参加方法

来場参加		オンライン参加	参加者合計
女性	男性	16	41
17	8		

職種	教員/医師	看護職	医療技術職	事務職	学生	その他	合計
人数	27	5	0	5	1	3	41
割合	65.9%	12.2%	0%	12.2%	2.4%	7.3%	100%